

RI D2660

東大阪東ロータリークラブ



HIGASHIOSAKA-EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2016-6-23 No.2486



世界へのプレゼントになろう

創立：昭和40(1965)年3月4日

『素直な心で、プレゼントの喜びを分かち合おう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：吉崎広江 / 幹事：大橋秀典 / 会報資料担当：梶田梓聞

今日の例会

- 卓話
「My ROTARYについて」
大塚 俊彦 君
- 今日の歌
「街に灯を」
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会後 定足数例会
(東大阪東RC細則改正)

来週の例会予定(6/30)

- 6月30日(木)
退任挨拶
会長 吉崎 広江
幹事 大橋 秀典

中田 武仁名誉会員のご逝去を悼みご冥福をお祈り致します。

合掌

先週の出席報告(6/16)

先週(6/16)の出席者数：41名(0)

出席率：73.21%

会員：62名(免除6名)

	5/26	6/2	6/9
HC 出席	38(0)名	休会	39(0)名
MU 出席	11(2)名		9(1)名
修正出席率	84.48%		84.21%

会長の時間

吉崎 会長

まず、皆さま既にご存知かと思いますが、私たちのクラブの名誉会員、中田武仁さんが、5月23日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

中田さんの叔父様は当クラブ設立の際の特別代表の中田守雄さんで、ご子息は国連のボランティアとしてカンボジアで活動中に亡くなられた中田厚人さんです。1996年より当クラブの名誉会員としてご入会されました。中田さんと最後にお目にかかったのは、オ・セイリュウでした。お目にかかるときには大変上機嫌に様々なお話を伺うのを楽しみにしておりました。週報の最終頁には、2013-2014年度に中田さんから頂いた寄稿文を改めて掲載させていただきました。Good Citizen についての文章です。皆様それぞれに、中田さんとの思い出を大切にしていきたいと思っております。

さて、本日例会後、先般のRI規定審議会がらみのクラブ決議を行うための定足数例会を開催します。定足数例会は、クラブの3分の一以上の出席が必要とされています。そして、賛成の為には過半数の発声方式の同意が必要とされています。

今回の定足数例会での議案については、入会金の廃止に伴うものであることはずすでにご存じかと思っております。しかし、一点それとは別の変更が入っています。それは、「第1節 会費 会費は年額28万円とし、各半年ごとの各支払い額のうち米価6ドルは各会員のロータリアン誌の購読に充当するという了解の下に、毎年7月1日及び1月1日に納入すべきものとする。」という部分の「各半年～了解の下に」(下線部分)を削除するものです。そして、同時に内規第一節の(6)に次の文言を追加するものです。

(6) ロータリーの友購読料(半期ごと1,200円+税)、米山奨学金普通寄付金(年間5,000円)は各会員の会費に含まれているものとする。

ここで、当クラブの会費に何が含まれているのかと考えますと、たとえば地区やRIに対する人頭分担金などは別途徴収していないという意味で含まれています。地区大会の登録料やIM登録料なども同様です。ならば、それらの事も内規に「含まれている」と明記するべきではないかというご意見があると思っております。しかしながら、私が内規にロータリーの友購読料と米山奨学金普通寄付金の二つを明示する必要があると思ったのには理由があります。それはロータリアンの義務ということなのです。

皆様もご存知のとおり、私たちロータリアンには三大義務があります。会費を納めること、例会に出席すること、ロータリアン誌を読むことです。そして、日本のロータリアンには、もう一つの義務があります。それが、米山記念奨学会に普通寄付金を納めることです。米山記念奨学会が組織されたとき、全国のロータリアンからの普通寄付金を条件として認可が下りました。それ以降、ロータリアンは普通寄付金を納めることが義務付けられています。全国平均は4660円程度なのですが、当クラブでは、毎年5,000円と決めて、全員から会費に含めて徴収しています。このことは、51年間のクラブ運営のどこかの年度の理事会で決められた事なのだと理解しております。

ロータリアンの義務としての雑誌購読料、米山普通寄付金の二つを内規に入れました(6月9日付持ち回り理事会)その上で、今回の細則改定について、皆さまのご判断を仰ぎたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

大橋幹事

当クラブの名誉会員、中田 武仁さんが5月23日に老衰のため神戸市内の病院でご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

《これからの予定》

- 【1】本日例会後、定足数例会
- 【2】7/3(日) 2016-17年度米山総会及び新規奨学生歓迎会
- 【3】7/7(木) 例会後、7月度定例理事会、午後6時半～、新旧会長・幹事歓送迎会 於：オ・セリリュウ

《連絡事項》

- 【1】本日例会後、定足数例会を開催致しますので、そのままお残り下さい。
- 【2】7/7(木) 18:30よりオ・セリリュウにて新旧会長・幹事歓送迎会を開催致します。多数のご参加宜しくお願い致します。

委員会報告

◎職業奉仕委員会 寺尾委員長
職業奉仕活動の一環として、平成28年6月13日(月)から6月24日(金)までの平日10日間、大阪府たまたがわ高等支援学校高等部2年生(各職場1名)の職場体験実習をセブンイレブン東大阪川中店、西石切店、介護老人保健施設「石きり」で実施致しました。6月21日には森会員の「ミエ産業」、23日には広田会員の「広栄(株)」にて実施予定です。

セブンイレブン 東大阪川中店



主に駐車場清掃や品出し、商品の補充などをしてもらいました。



セブンイレブン 東大阪西石切5丁目店



お遊びの時間のお手伝い等をしました。



東大阪東ロータリークラブ事務局
〒579-8012 東大阪市上石切町 1-11-12
ホテルセイリュウ 302 号室
TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577
E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

SAA報告 (ニコニコ箱)

梶本SAA

- ◎次年度クラブ協議会、宜しくお願い致します。
吉崎会長 芳田会員 大橋幹事
- ◎本日卓話です。よろしく。 小林 (一) 会員
- ◎小林 (一) さん、卓話ががんばって下さい。
田中 (哲) 会員
- ◎青少年交換来日学生 (エリナちゃん) のスピーチ
コンテスト・歓送会に出席しました。 溝畑会員
- ◎新年度親睦活動委員会、欠席お詫びします。
水谷会員
- ◎大橋さん、青少年交換委員会宜しくお願い致しま
す。 一由会員
- ◎親睦活動委員会の親睦会 (マリオットホテル下見)
をかねて行ってまいりました。 一由会員
- ◎2015-16 年度もラスト 3 回になり、会長・幹事・
各委員長並びに会員様、大変お疲れさまでし
た!!
- 石田会員 板倉会員 井上会員 大橋会員
表 会員 梶本会員 金子会員 吉川会員
斉藤会員 島 会員 須崎会員 寺尾会員
寺田会員 寺西会員 西森会員 藤本会員
水谷会員 山崎会員 吉田会員
- ◎韓国で吉崎の名刺入れが返ってくると言ったのに
返ってこなかったの!! 島 会員
- ◎私の名刺入れ、戻っておりません。 吉崎会員
- ◎森本さん、ラジオ聞きながら本日来ました。
吉崎会員
- ◎小田和正のコンサートに行ってきました。大変良
かったです。 森 会員
- ◎イチロー新記録おめでとうございます。
広田会員
- ◎大橋さん、一昨日大変お世話になりました。
河村会員
- ◎リオのパラリンピック、アーチェリーに出席しま
す。 寺尾会員
- ◎北海道、利尻島・礼文島に行ってきました。
西森会員
- ◎欠席お詫び
河村会員 寺田会員 寺西会員 水上会員
水谷会員 山崎会員 山村会員
- ◎早退お詫び 北川会員
計44,000円

「よき市民」であること

東大阪東ロータリークラブ名誉会員

中田 武仁

私が生まれ育った大阪は、明治以来の近代化が進み、戦前に「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど、1960年代の後半まで世界有数の一大繊維産業の中心都市であった。

そのため、繊維製品をあつかう外国人貿易商が大阪に多く集まり、その中にはインドから来た人達が割合大勢住んでいた。

ところで、私が高校一年生 15 歳の或る日、どのようなきさつであったかは忘れてしまったが私と同年のインドの少年と知り合って、私は党東ない英語でこの少年と語り合った。話がはずむ途中で、彼はとつぜん私に「君、教育の目的はなんだと思うか」と私に問いかけた。私は自分自身まだ学校教育を受ける事と思っていたからそういったことは考えたこともなかったのだが、「良くわからない」とは言いづらかった。この少年との話で議論となるとついおされ気味だったこともあってちょうどその日学校で私の好調先生が担当されていた漢文の授業中「孟子」を習った中で「君子に三樂あり」(徳を積んだ立派な人には生きてゆく中で三つの喜びがある)とあった。その三つとはまず両親、兄弟、姉妹にさわりなく元気であること。次にあおいで天に恥じず、伏して地に恥じず、かえりみてみずからに恥じずという生活をする事。そして「天下の英才を得てこれを教育する」の三つである。

そこで校長先生は話をついで「世の中にこれら三つの楽しみの内、はじめの二つの楽しみを持っている人は割合多いものだが、私みたいに君たちのような“英才”を得て、これを教育する、といった楽しみを持つ人は少ない。「だから私こそ、孟子の言う三つの喜びをすべてあわせ持つ君子であると胸をはって言える幸せ者である」と言われたので少々くすぐったいながらも大変良い気持ちになったのを思い出し、「教育の目的とは高い能力と高い知性を持つ“英才”をつくることにある」と自信を持ってインドの少年の問いかけに応じたところ、彼はすぐさま「それは違う」と答えた。そこで私は少しむっとして「では、君はどう思うのか」とたたみかけて問いかえしたところ、彼は「教育の目的は“よき市民”(Good Citizen)をつくることにある」と返事した。

私は Good の意味も、Citizen という言葉がどういう意味で使われているか知っているつもりだったが、もはや重ねて彼に「Good Citizen」とはどういう人のこと

を言うのか、を問うことははばかれた。

「君はそんな簡単なこともわからないのか」とこれ以上彼に軽蔑されるのはさすが耐えられなかったので、この話はここで打ち切った。

しかし、その時以来、私は「よき市民」とは一体どういう言動を日常的にする人なのか、をずっと考え続け、その結果自分なりに答えを出し、その答えを今日にいたるまで実行してきた。

ところで、さきほど神戸市にある人工島「六甲アイランド」に開校されているカナディアン・アカデミーというインターナショナルスクールに講師として招かれ、そこに世界の各国から来て学んでいる高校生を相手に講演する機会に恵まれた。

丁度講演が終わって、三々五々生徒たちが解散してゆく中に、私の話を聞いて呉れていた一人の少女がいたので、私はその少女に「あなたはどこの国から神戸にいられたのですか」と聞くと、彼女は「インドからです」と答えた。続けて私が「あなたは今何歳ですか」と聞くと「15 歳です」と言う。

私は、そこで自分が 15 歳の時インド人の同年の少年と交わした会話を思い出し、自分がその時からずっと今日まで考え続けていた問いを彼女に投げかけた。「あなた Good Citizen とは、どんなことをする人でしょうか。」彼女は即座にこう答えた「Respect Others」。一般的に英語の Respect という単語は日本では「尊敬する」と解されている。しかし Respect には

1. どの様な人も人として尊び、人間としての尊厳を認めること
2. 自分が心に決めたこと、皆で取り決めたことは必ず守る
3. 誰にでも過不足のない関心を払い、その人たちに行き届いた心くばりをする事などの意味が含まれている。

15 歳のインド人の少女は、私が 15 歳の時から今日まで考え続けていた問いに対し、瞬時に、しかも僅か Respect Others という 2 つの簡単な単語でその本質を述べつくしたことに驚嘆し感服もした。私は、目からウロコが落ちた思いがし大層爽快な気分になった。

“Respect Others” ; Good Citizen の本質。ロータリークラブの四つのテスト。

「よき市民であること」簡単明瞭でありながら、ロータリアンこそ日々努力し自らに問いかけつづけるべき、人間として一番大切な座右の銘とすべきではなからうか。

(終)